



山内雅喜

代表取締役社長 社長執行役員

ステークホルダーの皆様へ

私たちヤマトグループは、社会的インフラとしての宅急便ネットワークの高度化、より便利で快適な生活関連サービスの創造、革新的な物流システムの開発を通じて、豊かな社会の実現に貢献することを経営理念に掲げ、企業活動を営んでいます。近年のEC市場の急速な拡大や労働需給の逼迫など、大きな環境変化に直面する中、当社は次の100年も持続的に成長していくための経営基盤の強化を目指し、2018年3月期より中期経営計画「KAIKAKU 2019 for NEXT100」(以下、「KAIKAKU 2019」)を推進しています。

2020年3月期を最終年度とする「KAIKAKU 2019」では、「2025年のありたい姿」に向けて、「働き方改革」を経営の中心に据え、「デリバリー事業の構造改革」、「非連続成長を実現するための収益・事業構造改革」、「持続的に成長していくためのグループ経営構造改革」の3つの改革を断行します。2018年3月期は、ヤマトグループの原点である「全員経営」を実践するため、「働き方改革」を最優先課題とし、社員がより働きやすさと働きがいを持ち、イキイキと働ける労働環境の整備に取り組み、着実に成果を上げることができました。2019年3月期は、経営基盤の骨格を作る年度と位置付けており、引き続きグループ一丸となって取り組んでまいります。

併せて、ヤマトホームコンビニエンス株式会社において、法人のお客様の社員向け引越サービスにて不適切な請求が起きてしまったことを深く反省し、二度とこうした事態を招かぬよう、私が先頭に立ちヤマトグループのガバナンス改革に取り組んでまいります。ヤマトグループの社員一人ひとりが高い倫理観を備え、経営理念の実現に向けて行動することで、お客様をはじめステークホルダーの皆様から信頼される会社であり続けることを目指してまいります。

2019年11月に迎える創業100周年の先も持続的に成長し、豊かな社会の実現に貢献できるよう、これらの改革を確実に実行してまいります。